

ホームページでもご覧いただけます。http://www.osaka-c.ed.jp/nose/index.html

能勢高校ニュースレター

第57号 H.24. 1月発行 修学旅行特集

今年の冬は昨年より少し暖かいようでしたが、少しずつ寒さが厳しくなってきました、やっと能勢らしい雪景色が見られるようになりました。ニュースレター第57号をお届けします。

2年生がマレーシアへ修学旅行に行ってきました！

1月16日（月）から1月20日（金）まで、4泊5日（うち1泊は機中泊）で今年もマレーシアへ修学旅行に行ってきました。本校では次の3つ目標をもち、高校生活最大の行事である修学旅行を実施しています。

① 国際理解を深める

本校は総合学科として、「国際・情報」の系列を持つなど、様々な機会を通じ国際理解教育を展開しています。1年次の「産業社会と人間」や2・3年次の「総合的な学習の時間」で、外部講師に来てもらい異文化について学んだり、オイスカの研修生と交流したりしています。また毎年留学生も受け入れています。この修学旅行では赤道直下で日本と全く違う気候風土を持ち、イスラム、ヒンズーなど様々な宗教や言語があり多様な民族が暮らす国であるマレーシアを訪れ、「多文化共生」「異文化理解」をしっかりと学びます。

② 交流相手校との友情を深める

2年生になるとすぐに、交流相手校の生徒とメールのやり取りを始めました。また全員で踊る「南中ソーラン」を何度も練習したり、お土産のシュシュを作ったりと準備をしてきました。代表生徒は英語でのスピーチや、空手の演武、ダンス等の練習にも励んできました。それらを一生懸命にすることで、相手校の示してくれる歓迎の気持ちに精一杯応え、自分の交流相手との友情を深めます。

③ ルールを守り、規律のある行動をとる

海外ではどんな不測の事態が生じるかわかりません。時間を守り指示に従い行動することで、安全に旅行します。

旅程を写真とともに紹介します。



1月16日（月）外気温4℃の能勢高校から元気よく関西国際空港に向け早朝7時に出発しました。



9時に関西国際空港到着。マレーシアは暑いので防寒着は能勢高校へ置いてきました。バスを降り少しだけ外を歩くと、寒かった！



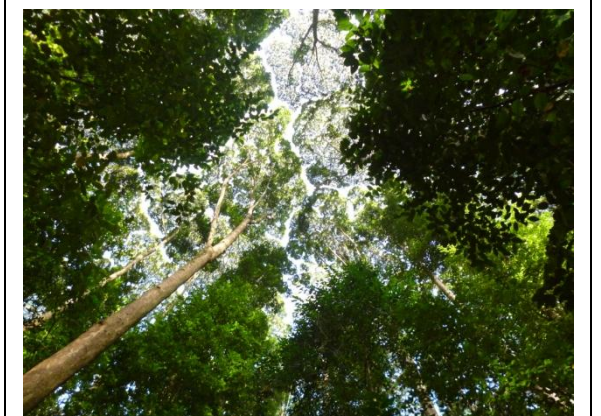
約7時間のフライトでした。マレーシアへ向けてGo！



クアラルンプール空港到着。巨大なショッピングセンターを備えた、大きく立派な空港でした。



1月17日（火）ホテルの庭での朝食です。



午前中、森林研究所でジャングルトレッキングです。



キャノピーウォークです。スリル満点の吊り橋。安全のため3mおきに進みます。薄そうな板の橋で、幅が狭く揺れる！



昼食はクアラルンプール市内の繁華街にあるフードコートで食べました。自分で好きな店を選び、自分で注文します。1RM(リンギット)=約30円です。



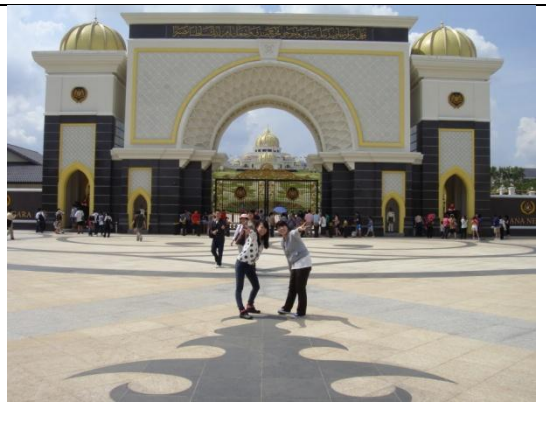
アスンタ高校との交流です。門をくぐってすぐに盛大な歓迎を受けました。「こんにちは」と日本語で挨拶してくれました。



早速交流班のメンバー顔合わせです。どうぞよろしくお願います。ちなみにアスンタ高校は女子高です。



クアラルンプールで代表的な建物のツインタワーを背景に記念撮影です。



王宮へやってきました。とても広く美しいところで、観光客が多かったです。



さあ、いよいよ「南中ソーラン」の披露です。揃いの「絆Tシャツ」を着て、気合を入れて踊ります。



アスンタ高生のリードで「Kuri Kuri」ダンスを教してもらいました。



国立回教寺院です。女子は肌を見せてはいけません。祈る場所は信者しか入れない神聖なところでした。



ヒンズー教のバツ洞窟です。一神教の世界から、多神教の世界へ。272段の急な階段を登って行きます。

次の日、クアラルンプールからマレーシアの政府機関が集まっている美しい人工都市のプトラジャヤを経由して、古くから交易の拠点であるマラッカを観光した後、クアラルンプール空港から帰国しました。

天気に恵まれ、交流も大成功で、とてもいい修学旅行だったと思います。この旅行での、嬉しかったこと、楽しかったこと、おいしかったこと、感動したこと、びっくりしたこと、暑かったこと、腹立ったこと、疲れたこと、眠かったこと、全てのことがかけがえのない思い出になるでしょう。

そして今後、2年生がこの経験を活かし、勉強(特に英語!)に一層真剣に取り組み、世界で活躍する人材になることを期待します。

最後に、マレーシアで通じる魔法の言葉(マレー語)を紹介します。

terima = 受けとる kasih = 愛、愛情 ⇒「あなたの愛情を受け取りました」
terima kasih (テレマカシー) ありがとう